

CS こひつじ科礼拝式次第

2021年11月21日 午前9時30分

2021年度年間テーマ：「光の子として歩もう！～イエスさま 来てください～」

テーマ曲：ワワワいっしょに（92番）

暗唱聖句：「私たちの助けは 天地を造られた主の御名にある。」

詩編 124編8節

61、聖書名目ずくし（こどもさんびかをお用いください）

おいのり 礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしよ ルカによる福音書 11章9節～13節

「求めなさい。そうすれば与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば開かれる。誰でも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれる。・・・まして天の父は求める者に聖霊を与えてくださる。」

(↓クリックで音声ファイルが開きます)

[おはなしとおいのり「お祈り2 み心なら何でもかなえてくださる」](#)

熊田雄二牧師

きょうは、最近、大人の礼拝で学んだ「主の祈り」の大切な教えです。先週、門脇校長先生から、お祈りの前に、まず神様がおっしゃることを聴くことが大切だと学びましたね。きょうは、その続きで、お祈りについて、イエス様が命令なさった大切なところがけです。

まず聖書を読むと、神様の御心が分かって祈るようになります。父なる神様がしようとしておられることを、神の子たちも一緒にしてほしいと願っておられることが分かります。私たちが神様にお願いするよりも前に、神様の方が願いを持っておられるのですね。そして、私たちと一緒に、その願いを実行しようとしておられます。

だから、イエス様は、まず、父なる神様がしようとしておられる事のために祈りなさいと教えています。主の祈りの前半は、父なる神様のしようとしておられることが、この地上にもなされますように、という祈りです。それは、天の神の国が地上でも完成して、神さまの御名が讃美されますように、ということです。そのために、私たちに必要なことを祈るのが、主の祈りの後半です。

さて、天地創造の神様は、お造りになったすべてものに必要なものを与えておられます。空の鳥にも、野の花にも。そして人間には、地上にお造りになったものを治めなさいと命じられたのですから、その働きに必要なものは何でも与えてくださいます。ところが、人間は神様から離れて、自分勝手に好きなことを願い求めるようになりました。その結果、地上にお造りになったものが、苦しい苦しいとうめくようになりました。それが私たちの罪、人類の罪です。

人間と世界を救うために、天の父なる神様は、救い主のイエス様をこの地上に送って下さいました。神様がイエス・キリストによって私たちの罪を赦して下さること、ここから、地上の神の国は始まります。だから、イエス様を信じる人は、イエス様と同じ心を持って神様の御心を行なう必要があります。それは特に、赦す心と誘惑に負けない心です。だから、地上で生きるためには、体の食べ物が必要ですが、心の食べ物も必要です。心と体が必要なものを食べて生きるのは、「みくにを来たせたまえ」と、この世界を神の国とするためです。そのために「求めなさい。そうすれば与えられる。…天の父は求める者に聖霊を与えて下さる。」と、イエス様は、命じておられます。聖霊は、イエス様を信じる心を与えて下さいます。罪人の心に信仰を起こして、この地上にも神の国が完成するように働いておられます。

祈り 聖霊なる神様、私たちが祈りのところがけを間違ってしまうとき、正しくしてください。主の祈りを教えてくださったイエス様は、自分の思い通りでなく御心になるようにと祈って、十字架に向かって行かれました。私たちも、御心を知って、地上に神の国が来るようにと祈って、神様といっしょに働くことができますように。イエス様によって、アーメン。

* 小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。

(けんきん) 会堂2階掲示板下の机に献金箱を設置しました。

おいでの際におささげください。

92、ワワワいっしょに (こどもさんびかをお用ください)